



北海道内市町村保健師合同就職説明会 のしおり

赤井川村



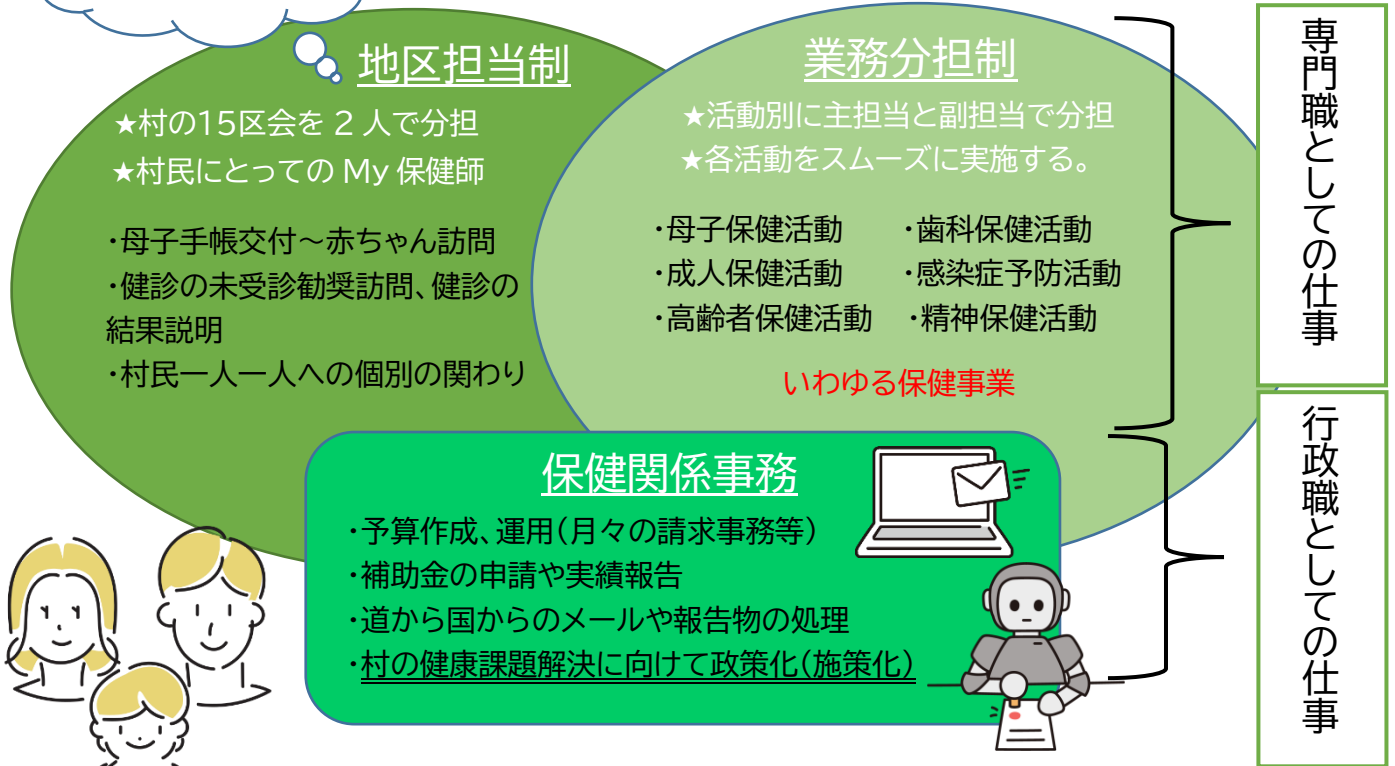
the most beautiful
villages
in japan

「日本で最も美しい村」連合

～赤井川村の保健活動について～

国保健診対象者 180 人程度
出生は年3～6 人程度

- ・・・小さな村だからできる保健活動を！
- ・・・専門職だけど行政職であることを忘れない！



行政は文書主義なので、毎日決裁文書に押印作業多数・・・笑

◎保健福祉課について～約7名で係を兼務しながら村の保健福祉を担っています。

保健福祉課

令和7年4月
係が統合し
2係体制に。

介護医療係～介護支援係と国保医療係が合併。地域包括支援センターは外部委託、主に高齢者政策全般担当。国保及び後期高齢者医療、赤井川診療所等医療全般担当。後志広域連合があるので、対住民サービスが業務の主体。

保健福祉係～福祉係(社会福祉士1・事務職1)と保健係(保健師2)が合併。福祉係は、福祉全般及びへき地保育所担当、こども家庭庁発足で児童福祉業務増加中。保健部門は、全住民の健康増進全般を担当。



R7 こどもと子育ての相談センターTONCA(こども家庭センター)開設

センター長(保健福祉課長)

統括支援員(保健師)

児童福祉(社会福祉士)

母子保健担当(保健師)





保健師の活動(業務)ってなんだろう？

・・・地域の健康課題を政策化(施策化)することかな？

保健師の強みってなんだろう？

・・・木を見て森を見る、森を見て木を見るみたいな？

・・・対一人というより対家族、対地域みたいな？

じゃあ、政策化(施策化)って・・・？ 難しく考えない！ 例えば去年の保健師の頭の中(母子保健編)

疑問や課題

(アンケートを見て) えええええ！ 赤ちゃん少ないのに相談の相手に保健師が選ばれていないってなぜ？ 子育てしづらいってなぜ？ 地区担当保健師が赤ちゃん訪問をしていないの？ 人が集まらない教室なぜ続けている？ 子育て世帯への事業少ないぞ～？ 制度がわかりづらいな～？ 等々・・・



何をするか考える



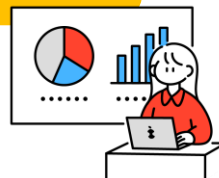
相談相手に選ばれるために何をする？

気軽に来れる相談室作りしたいな。地区担当保健師が妊婦面談 2 回ずつ、赤ちゃん訪問もしよう。助産師の産前産後ケア受けられるようにしよう。妊産婦さんの経済的支援もしよう。赤ちゃんの発達支援もしたいなー、ガイト作ろう～

予算を確保する

- ・産前産後教室⇒産前産後ケア事業
- ・妊婦健診の費用助成、交通費助成開始
- ・妊婦面談は 2 回へ
- ・育児支援の会に助産師や作業療法士のクラスを新設
- ・各種制度のチラシを作成
- ・子育てスタッフの研修会を企画運営
- ・親子相談室やキッズルーム改修・・・等々

- ・事業の実施要領を考える、誰に何を願うのか、いくらかかるか見積をとる
- ・予算を確保する(11 月頃)～使える補助金を探しつつ、予算作る。上司に説明する。

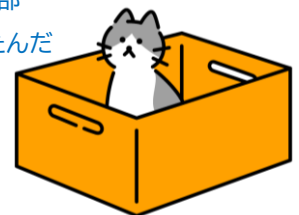


⇒ めでたく予算確保。
翌年春、怒涛の事業展開する！

事業展開しながら評価する。修正する。
いわゆる PDCA?
事業は常にスクラップ&ビルドを心がけつつ...



相談室の壁一部
シロクマにしたんだ



たぶん、保健師は、保健事業をただただこなしているとつまらないんだ。
住民さんと向き合って、考えて、やってみて、間違えたり、うまくいったり、
うまくいかなかったり・・・が実は面白いんだ(と思うヨ)しかし、だいたいうまくいかん。笑。



～赤井川村の保健師の歴史について～



昭和 58 年	角井さん	村初の保健師！在職 27 年。管内では神と言われた…
平成 6 年	N さん	村 2 人目の保健師 平成 11 年 3 月退職
平成 11 年	瀬戸	在職 4 年
平成 15 年	A さん	在職 4 年
平成 19 年	N さん	在職半年
平成 20 年	S さん	在職 2 年
平成 22 年	K さん	在職 7 年
平成 23 年	Y さん	在職 1 年
平成 24 年	T さん	在職 5 年
平成 26 年	S さん	在職 4 年
平成 29 年	M さん	在職 5 年
平成 29 年	T さん	在職 5 か月
平成 29 年	K さん	在職 6 年 9 カ月
平成 30 年	F さん	在職 6 年
令和 6 年	瀬戸	25 年ぶり 2 度目
令和 7 年	大久	実はなんと、角井さんの娘さん！

平成 6 年～

保健師は 2 名体制に。

角井さんは平成 23 年 3 月定年退職
長らく赤井川村は短いスパンで保健師が入れ替わり。
保健活動の継承が難しい時代が長くありました。
でも、角井さんの取り組んだ保健事業は
今も続いています…

平成 30 年～令和 3 年度
の間、保健師 3 人体制

令和 9 年、再度保健師 3 人体制へ！



～赤井川村の保健活動の特徴って？～



赤井川村保健推進員協議会

もう道内で数少ない保健推進員さん、大事な保健師のパートナー
一人保健師だった時代に、村に健康を守る仲間が必要だった。
独立して地域サロンたんぽぽを運営(10 年目)

地区別健康づくり事業は 20 年以上継続

各地区最低 2 人、総勢 38 人

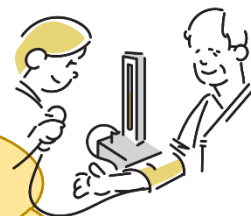


今日体調良くないから血圧測りに来てくれないか？と電話がきたり。

ワクチンのことを教えてほしいと電話がきたり。

ちょっと訪問してくれないかと言われたり。

何かと気軽に呼ばれるヨ～



～保健師なんでも Q&A～



1. 看護師から保健師に転職する場合って？

わたしたち 2 名とも、看護師経験者(瀬戸は助産師も)で、実は看護師の仕事も大好きだったりします。大きく違うのは「地域は結果がすぐに出ないこと」かな。予防って、時間がかかるし、求められていない住民さんに関わることも必要なので、そこも違いかな。拒否されても、折れないメンタルが重要ヨ。その違いも愉しめるので、看護師経験してから保健師経験をするというのも good。

2. 保健師として働くにあたり、大切なこと

住民さんに信頼されること、そのために話をよく聴く姿勢(大久)
とにかく懸命にまっすぐやること、境界線<バウンダリー>を大切にすること(瀬戸)
…あと、就職したら保健指導は、かなり勉強必要～、これは本当に本当に大切。



3. 実際に働いている方の本当の気持ち

キャリアが上がれば上がるほど事務量は正直なところ増えますし、少子化なのに母子の事例は複雑になっていたり、ときどきヘコたれたり、めんどくさい！と叫びたくなったりします。でも、それを住民さんには見せないのもプロフェッショナルなのかなと。なので、仕事以外の気分転換がとっても重要、年休大事、攻めの休養も大事。

4. 1 年目はどんなことを行うの？

うちは、とにかく「地域を知る」「地区を知る」「住民を知る」 事務は二の次。笑。
KDB、KDB Expander、マルチマーカ、ヘルスサポートラボツール等々各種ツールがあるので、その使い方を覚えつつ、健診結果や医療介護の情報から地区の健康課題を見たり、住民さん個人を見たり、それで訪問に行ったり、研修に行ったり。



悩んでいる暇はない
あつというまに定時



5. 学んでいる内容とどれほどの差があるの？

正直なところ、学んだことは「概念」で、「実践」とは相当の差があるかも。なので、おそらく働いてしまってから、いろいろと理解が進むと思います。なので、まずは働いてみましょう♪

6. 産業保健師との違い

産業保健師は、今従業員のメンタルヘルスサポートが大きいと思います。そして健診の保健指導。ゆりかごから墓場までを対象にしたい人は、地域の保健師がベスト。
わたしは、男性ばかりの職場の産業保健師 1 年で嫌になり辞めました…赤ちゃんに触れたいでしょ。やっぱり。(瀬戸)



7. 就職後のキャリア形成

人生100年時代、65歳まで働くことが当たり前の世の中へシフト中。保健師職としての人生も長くなり、その場所に留まらず、様々な職場を渡っていく人も増えてきました。どこの職場に行っても、ブレずに自分の軸を持って働くための力を作る時間として、小さな村で、村民ひとりひとりにゆっくりと向き合って働いてみてほしいです。ぜひあなたの行政保健師としての基礎を作るサポートを私たちにさせてください。

～保健師になってみようかな？と考えているみなさまへメッセージ～

保健福祉課長 高松より

(25年前は、角井&瀬戸保健師と一緒に保健福祉係で働いていました)

小さな村役場の総務課担当から令和6年春、22年ぶりに保健福祉課の仕事を担当となりました。今までは、地方創生や過疎地域の活性化策などの分野も担当していましたが、人事異動により50歳に大きな気づきがありました。

地方創生や地域活性化、持続可能なむらづくりを進めるために最も大切なことは、「住民ひとりとひとりが健康であること」だと。

病を抱えていても障がいがあっても、ひとりひとりが「健康」であること、その「健康」を支えるための仕事を保健福祉課が one team となって進めていきたいと考えています。

小さな自治体は、やってみたいと思えることをやってみることができる環境があります。

皆さんからのお問合せ、お待ちしております。



保健福祉係長 上妻より

(社会福祉士でもあり、頼れるお姉さん)

大きな「まち」じゃなくて、この「むら」にあるもの。それを見つけたのは、3年くらい働いた頃でした。なんてたって色々なことを経験させてもらえるので、私はあらゆる「福祉」に出会うことになります。

そして、いつの間にかソーシャルワーカーになりました。というか、「むら」にソーシャルワーカーにしてもらったような気がしています。

それくらい、小さなこの場所には、広くて大きなふところがあるんです。都会では学べない沢山のことを一緒にあなたにも味わってほしいなと、ちょっとお節介な気持ちでいます。

保健師 大久より

(R7採用、前職は、外来看護師。病棟看護師経験有)

小さい頃から母と村民のみなさんとの関りや保健師としての姿をみて、保健師は村民のみなさんに身近で、やりがいのある仕事なんだと感じていました。自然と保健師を目指し、大学へ。就職説明会で大学病院の看護部長さんの考えが素敵で、どうしてもその病院で働きたくなり、4年間看護の基礎を学ばせてもらいました。その後、子育てのために地元に戻り、地域の総合病院の外来で約8年勤務しました。その中で、地域での予防が大事だということを痛感…保健師経験がなく不安もありましたが、小さな村でゆっくり村民と向き合って働いてみませんか？に後押ししてもらい、村の保健師に応募しました。4月に入職し、職場や村民のみなさんの優しさに触れ、地区を周りながら、少しずつ成長させていただいています。働きながら保健師としての知識を深め、一人ひとりに向き合いながら、地道に信頼関係を築けるように活動中です。保健師として、看護師経験を活かすことができる機会もあり、嬉しく感じています。

保健師 瀬戸より

(R6 赤井川村へ戻り、前職は10年上士幌町勤務。看護師助産師&産業保健師経験有)

平成11～14年度の保健師職始まりの4年間を過ごした赤井川村へ20年ぶりに戻ってきたら、5か月で一人保健師になり、バタバタ走り回っていたら、令和7年春新しい後輩保健師が来てくれました。それがなんと、上司の娘さんとは、これも何かの縁なのだなあとしみじみ思っています。…人生って本当におもしろいなあ。老体に鞭を打ちつつ、少数精鋭の仲間たちと、毎日ワクワク(ガクガク)を継続中…

4月に主幹になったので、いよいよ、現場の仕事は若手に任せて、全体をコーディネートするフェーズになりました。退職まであと7年、仕事の面白さも悲しさも一緒に経験できたらいいなあと思っています。

今、日本は労働者人口が減り続け、10年後、20年後さらに人が減り続けていきます。
少ない人員で、いかに村の保健福祉を守っていくか。保健師だけじゃ何にも始まらない。
多職種と連携して働くことが、とても重要！
小さな村だからこそ、赤井川村では
いろんな年代、いろんな職種の人と働く経験ができますヨー。

ちょっとでも気になったら、
まずは来てみればいいっしょ！
おいでおいで、気軽に見学においで。



令和7年度～8年度現在までのむらの保健事業トピックス

＊保健師2人体制になって、訪問も保健指導も増えました。

⇒ 結果 特定健診の受診率もじわじわ上昇中。

＊こども家庭センター設置！ 素敵なロゴもできました。

こどもの権利を大切にしようと、包括的性教育やこどもの暴力予防の取組(CAP)が始まりました。(小学校&保育所)

＊こどもの発達支援に力を入れています。

育児支援の会や、保育所、学校に、作業療法士や特別支援教育士が入って、こどもの育ちを支援しています。

＊健康づくり計画第3期をリリースしました。

これから約10年間の村の健康づくりの
ロードマップ。

<お問い合わせ>

赤井川村役場保健福祉課保健福祉係(健康支援センター) 保健師 せと おおひさ 瀬戸・大久

電話 0135-35-2050 E-MAIL hoken2@vill.akaigawa.lg.jp

